

不登校を考える親の会

(代表) 加嶋文哉

〒876-0814

佐伯市東町12-15

0972-24-1669

# 星の会

(E-mail) ichibanboshi@hoshinokai.net

(URL) http://www.hoshinokai.net/

## 不登校支援も **子どもの立場で** 考える

### 子どもが存在をかけた重い言葉

子どもは「みんなと同じようにならないといけない(みんなと同じように学校に行かないと…)」「今の私のままではダメだ。」「学校に行くことができない私に将来はあるのか。」「このまま消えてしまいたい。」と自分を追い詰めながら、毎日を過ごしていく。自分が「どうしたいのか」という主体性は小さく萎み、「どうしなくてはならないか」ばかりを考えて毎日を生きているようになる。

こうした時に、親や教師がどうすれば学校に行くようになるかを考えて、なんらかの支援をすることは、かえって子どもを追い詰めることにつながる。親や教師からすると、1日でも学校に行くのが遅れると、それだけ教室に入りづらくなるように思えるが、子どもの方ではそれどころではない。学校に行けない自分を責めると同時に、その苦しい気持ちを誰にもわかってもらえない「孤独感」という二重の苦しさに追い詰められている。そうした時に大切なことは、子どもの苦しきつらい思いを受け止め、学校を休んでいることを受け入れることである。

その際に、親や教師が気をつけなくてはならないことは「簡単に不登校をしている子どもはいない」ということである。「この生徒の不登校は怠け型です。」という教師の言葉を聞いたことがあるが、怠けに見える言動の裏側に隠された子どもの願いを理解しようとしなくては、見えるものも見えてこない。怠けているような態度でしか学校を休むことができない苦しさ(自分ではどうにもならない厳しい状況)もある。

- 「星の会」は1994年10月22日に佐伯で生まれました。
- 「星の会」は、不登校を考える親の会です。親以外にも不登校について継続的に考えていきたい教師・個人も入会できます。
- 「星の会」の例会は、大分で月に2回、別府・津久見でそれぞれ月に1回開いています。また、ひきこもりを考える「アンダンテ星の会」を3ヶ月に1回開いています。
- 「星の会」は年会費2,000円です。(1月が更新の月)
- (例会には参加できなくても)会報を読むだけの会員も大歓迎です。周りの方に拡げて下さい。

中学生の時に不登校をした青年は、当時を次のように振り返る。

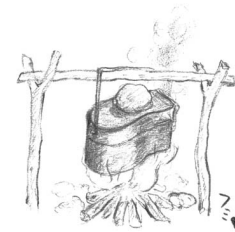
気づけば、私はクラスの子たちから完全に孤立していた。最初は悪いのは私なのだから仕方ない、自業自得だと思っていた。しかし、日がたつにつれ、その状況は悪化していき、誰からも相手にされない、目があってもそらされる。近づいていくとあからさまに避けられる…ここまで来ると、さすがの私も自分の存在自体を拒否されているようで締めつけられるような思いになった。そして、教室の後ろの方に目をやると、そこにはそんな私を見てうれしそうに顔を見合わせる主犯格の人たちがいた。(中略)

それでも、学校には毎日通っていた。親に言っても、何の解決にもならないし、心配をかけてはいけないと思ったからである。しかし、もう限界だった。どんなに待っても孤独な毎日が続く、誰にも声をかけられず、誰からも相手にされず、私にはどうしていいのかわからなかった。それでも、親には言えなかった。やっとの思いで出た言葉が「今日は、お腹が痛いし、休もうかな…。」だった。これが、私の勇氣の全てだった。(後略)

このように、不登校をする子どもたちの多くは、苦しみの限界に来た時に、初めて「学校を休みたい」という言葉または態度を発する。それは、自らの存在をかけたメッセージであることも珍しくはない。否定をされたら生きていけない重さをもった言葉(行動)である。

したがって、腹痛や頭痛を訴えながら「休みたい」という言葉や行動を見せる子どもにかかる言葉は、「どうして行きたくないの?」という(責める眼差し)原因探しの言葉ではなくて、「休みたくなるほど嫌な事やつらい事があるんじゃない?」という子どもの生きづらさを受けとめる言葉でなくてはならない。

しかし、この子どもの気持ちを受け止めることが難しい。親や教師も不安になっているからである。では、どうすれば…次号の会報で考えてみたい。



## 8月例会

■ 第1土曜日に行う 大分例会  
○七夕祭りのため、中止です。

■ 第30回 別府例会 (通算439回)  
○8月4日(土) 19:00~21:00  
○別府市社会福祉会館(駅前青山通り ホテル白菊の裏)  
○参加費 会員は200円/一般は500円  
○申込みは 西田さん 090-7389-1577

■ 第180回 津久見例会 (通算440回)  
○8月10日(金) 19:30~22:00  
○広浦公民館  
○参加費 会員は200円/一般は500円  
○問い合わせ 戸高さん 090-9792-7317

■ 第101回 大分例会 (通算441回)  
○8月17日(金) 19:00~21:30  
○大分コンパルホール 311会議室(3階)  
○参加費 会員は200円/一般は500円  
○問い合わせ 中島さん 090-4516-3964

- 大分例会…9月1日(土) 13:00~16:20
  - 別府例会…9月1日(土) 19:00~21:00
  - 津久見例会…9月14日(金) 19:30~22:00
  - 大分例会…9月21日(金) 19:00~21:00
  - アンダンテ星の会…9月22日(土) 14:00~17:00
- 変更する場合がありますので、会報で確認して下さい

次回予告

## 会費

を納めて下さい  
年会費は 2000円です

- 会費は2012年の分だけで結構です。2011年以前の滞納があっても徴収はしません。
- ◎振り込みは 大分信用金庫 渡町台支店(普) 0228692 加嶋文哉 まで  
振り込み手数料は、会員さんの方で負担して下さい。
- ◎加嶋宛に封書で郵送して下さい。その際は、外からお金が見えない工夫をして下さい。
- 星の会をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡下さい。  
長期に会費が未納の方は、退会の手続きをとらせていただくことがありますのでご注意ください。

会費を納めたかどうか  
はっきりしない方は…

封筒に貼られた  
ラベルを見てください

876-0814  
佐伯市東町12-15  
加嶋文哉 様

名前につく「様」の後に  
0の数字がある方は、未納です。  
-1の数字がある方は、納めています。  
尚、間違いがある場合は加嶋までご連絡を。